



Critik der Urtheilskraft
 von Immanuel Kant
 Berlin und Libau : Bey Lagarde und
 Friederich , 1790

カント 『判断力批判』
 初版

A/134/Ka59/

「純粋理性批判」と題され
 の性質に関する彼の論文は、しばらくの間、知られ
 が、やがてそこに秘められた数々の貴重な思想が充
 と、一大センセーションを巻き起こすことになった。以
 あれ哲学であれ、ほぼ全ての作品が、この著作のもたら
 撃の影響下に生まれることになる。

この人間の悟性に関する論文に続いて、道徳に関する「実
 性批判」、美の性質をテーマにした「判断力批判」がある。知性
 の法則、自然の原理、自然や芸術の美の観想を扱ったこれらの
 三つの論文の基底にあるのは、同じ一つの理論である。

カント全集 第9巻 1790年刊

